

2022年度会員アンケート調査 集計結果

<アンケート調査の概要>

■目的

- ・会員のロジスティクスの現状・課題調査
- ・今後の事業展開に向けた顧客ニーズ調査
- ・J I L S活動への要望等

■調査方法

メール案内、WEB回答方式

■調査期間

2022年12月14日（月）～12月28日（月）

■調査対象・回答状況

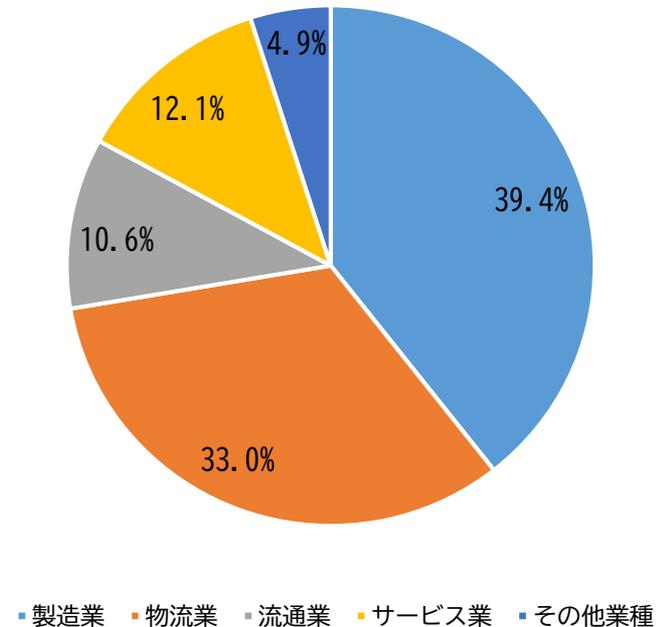
調査対象：法人会員 登録者（2,442名）
個人会員（55名）／計2,497名

回収状況：有効回答数 264名／247社
（回答率10.5%／26.1%）

※有効回答の定義

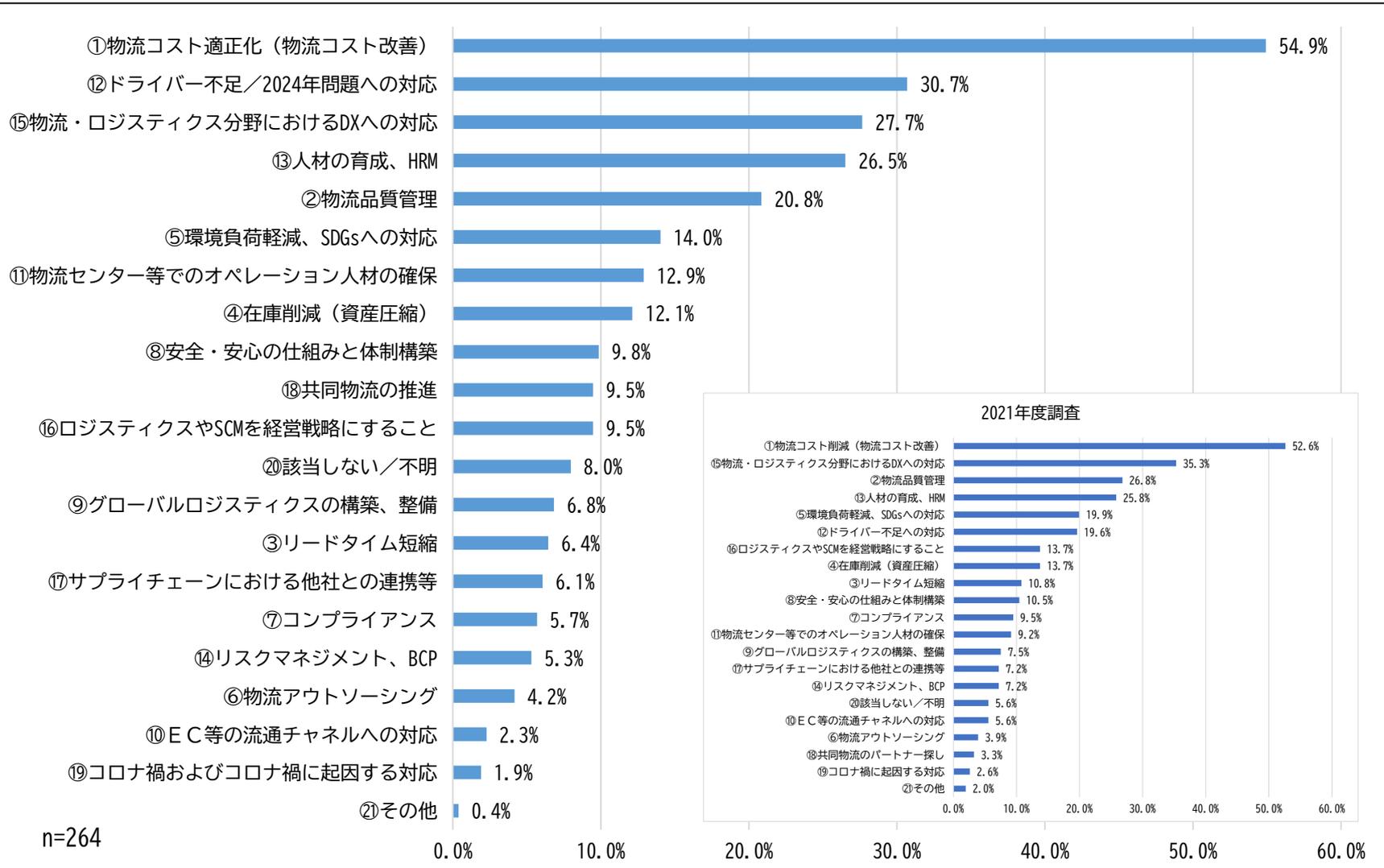
本調査では、回答者情報：業種、会社名、所属・役職、氏名、メールアドレスのいずれかに記入のあった回答を有効回答とし集計対象とした。

回答者業種



1-1. ロジスティクスやSCMを推進するうえでの課題

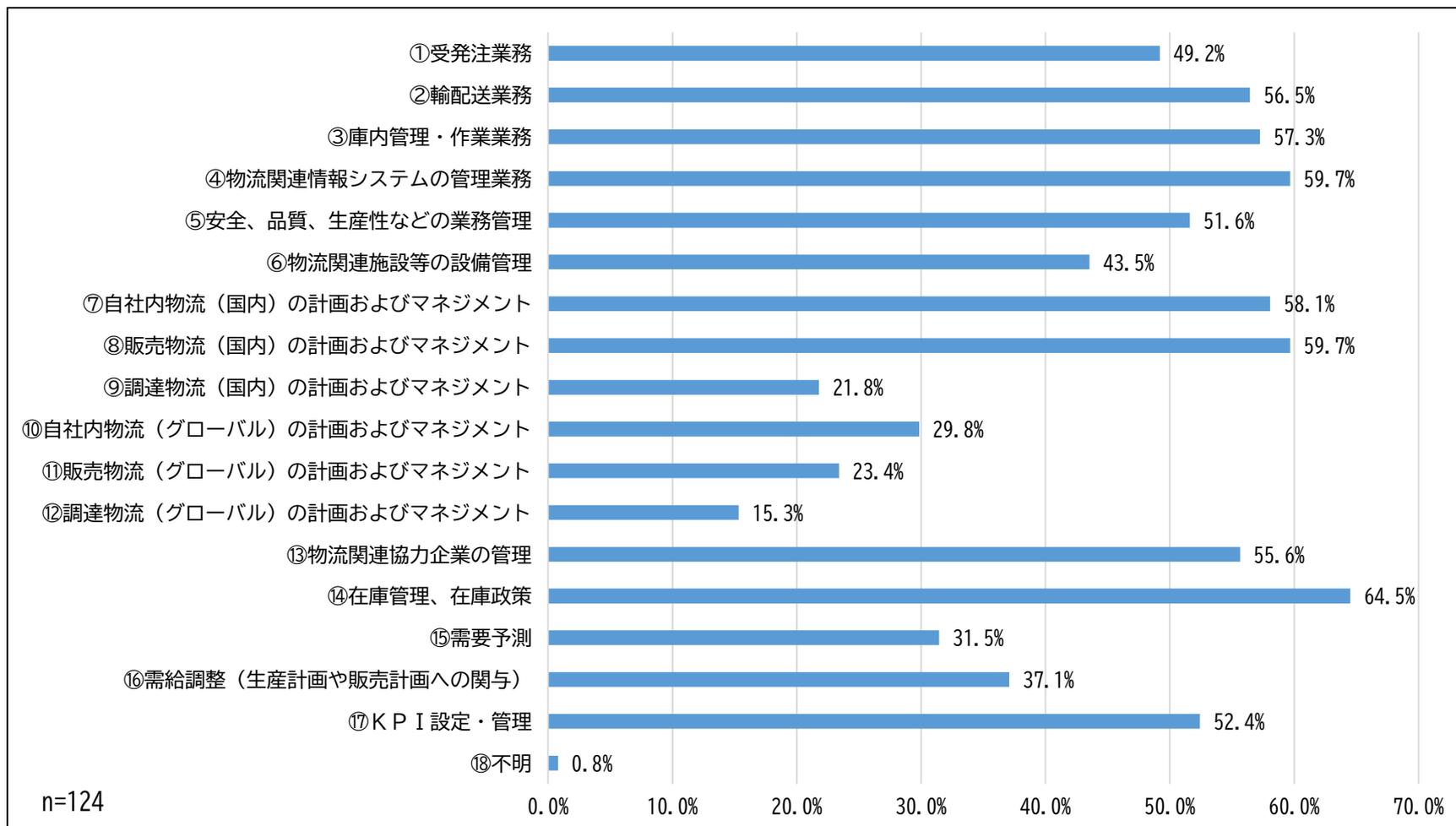
貴社もしくは物流・ロジスティクス・SCM部門において、ロジスティクスやSCMを推進するうえでの課題を3つまで、お選びください。



1-2. 物流・ロジスティクス・SCM部門の担当業務

【荷主企業の方のみお答えください】

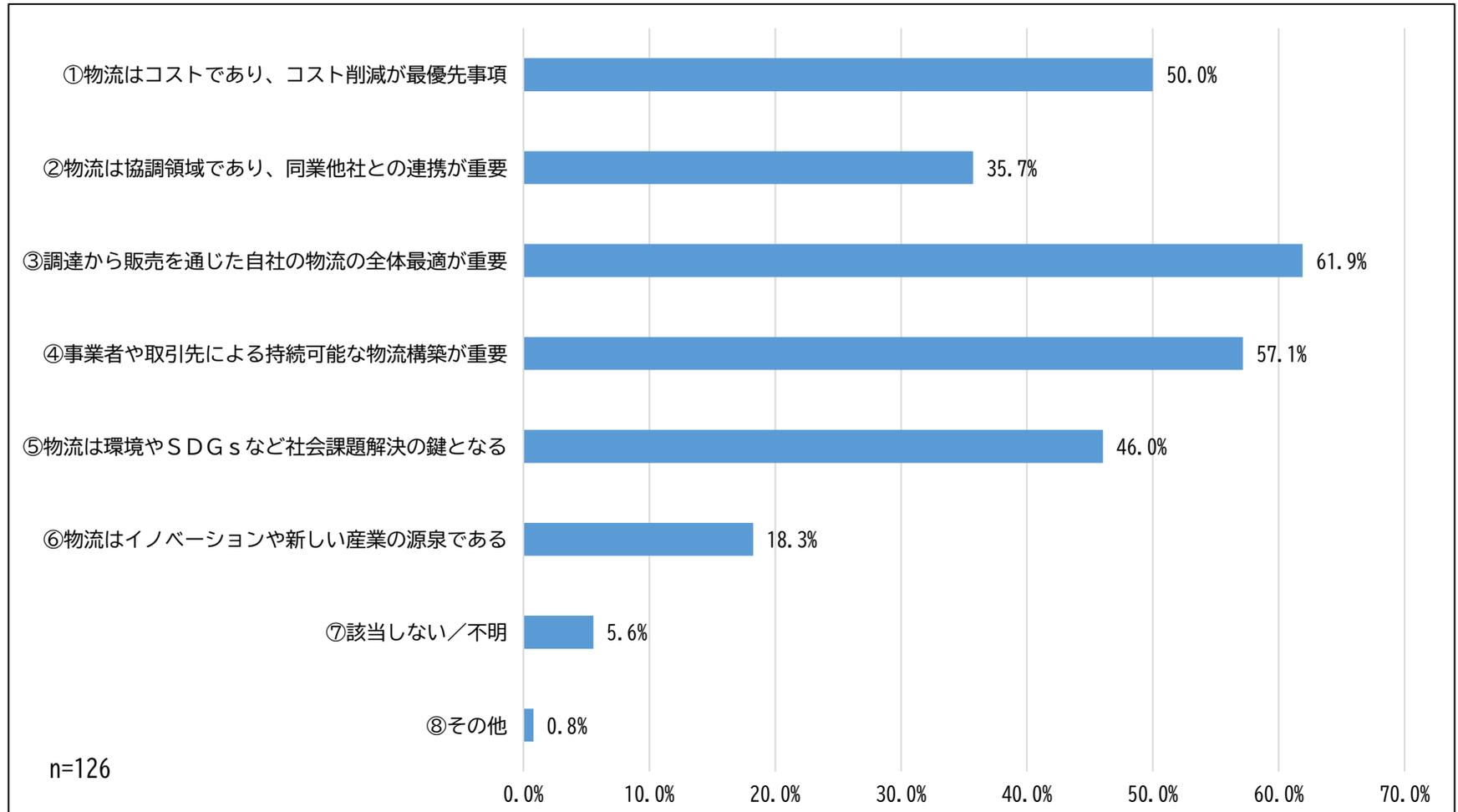
貴社の物流・ロジスティクス・SCM部門の担当業務をお選びください（複数選択可）。



1-3. 経営層における物流に対する認識

【荷主企業の方のみお答えください】

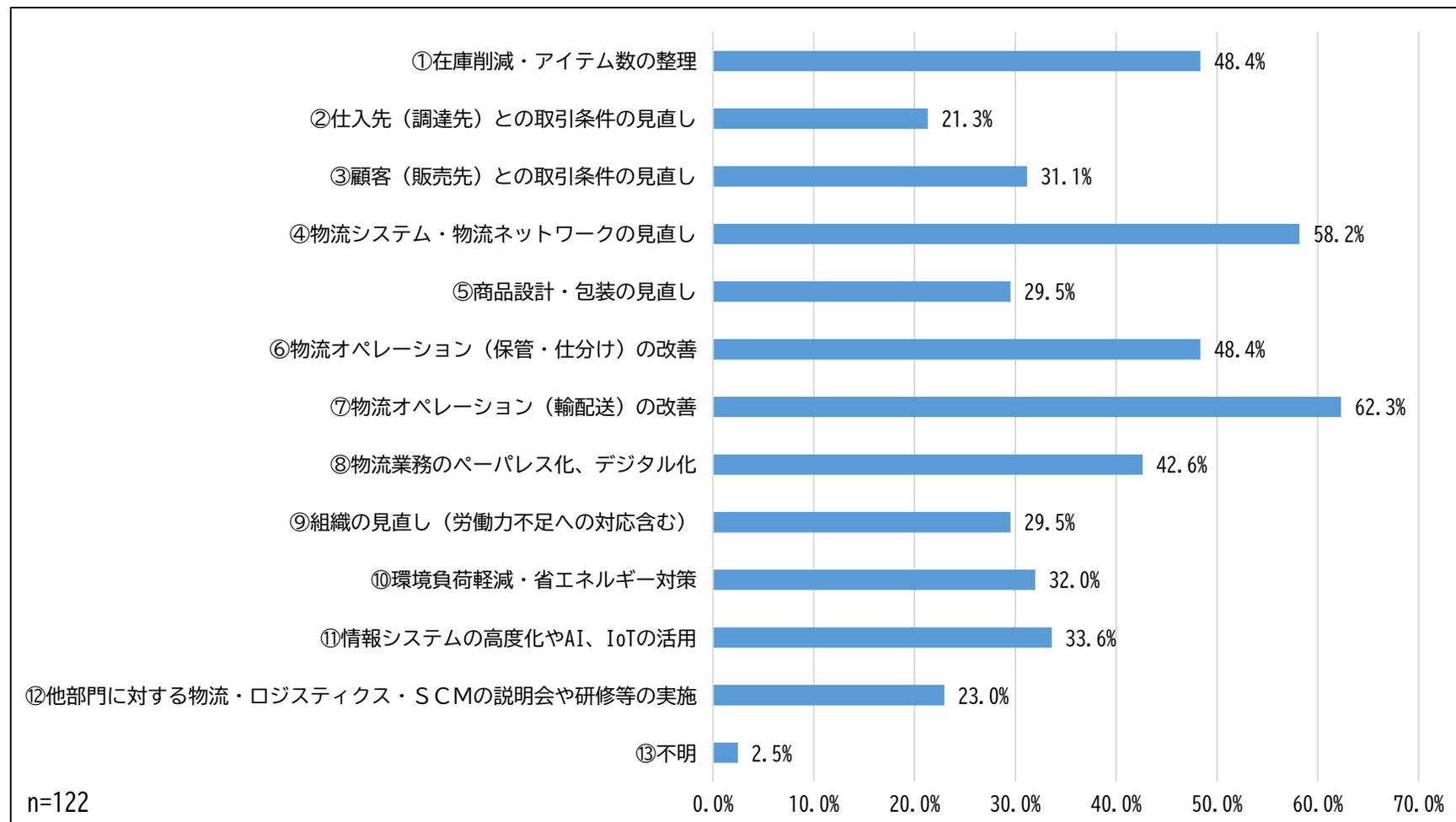
貴社（主に経営層）における物流に対する認識について該当するものを、下記の選択肢からすべてお選びください（複数選択可）。



1-4. 過去1年程度に取り組みられた施策

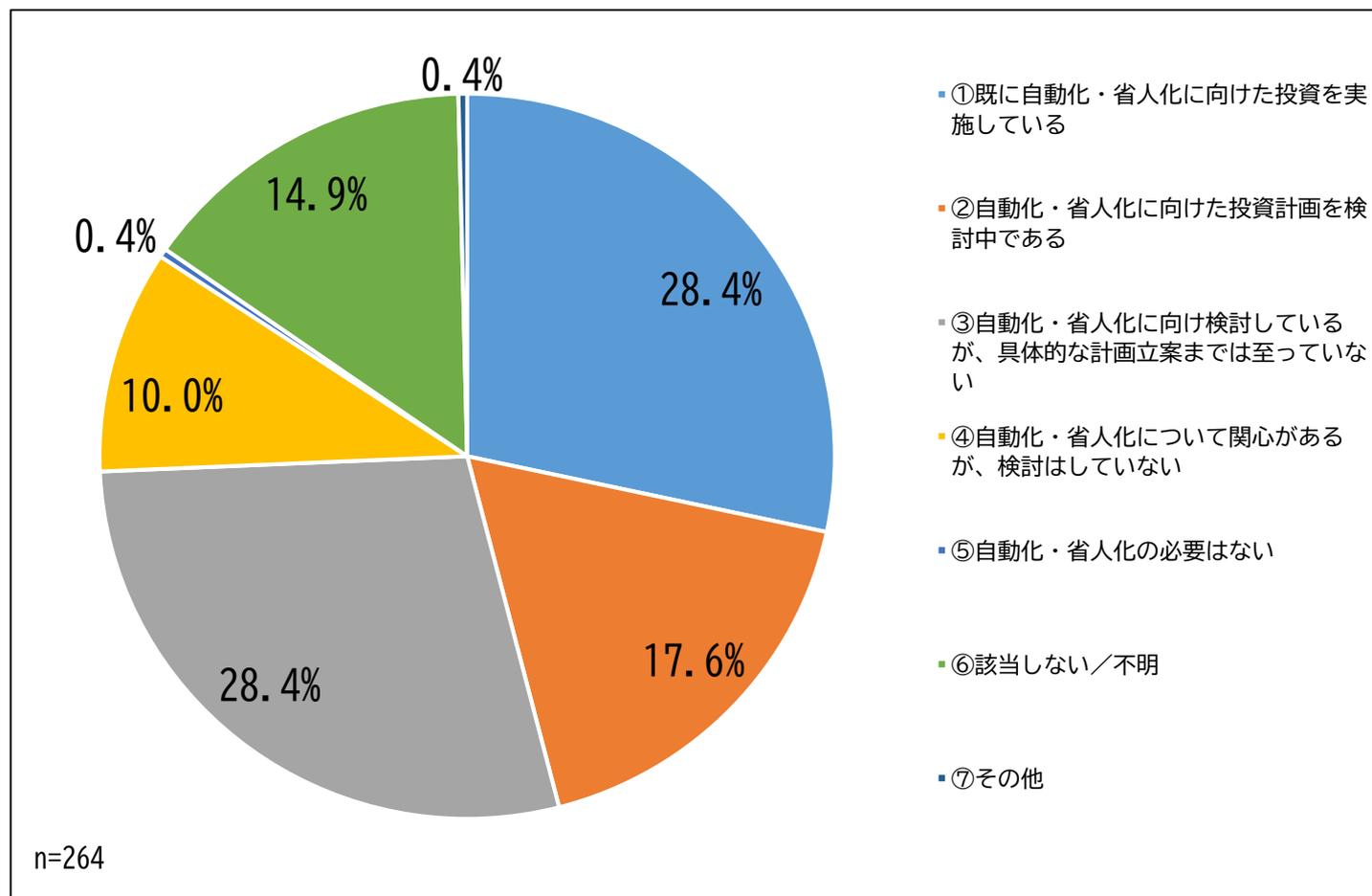
【荷主企業の方のみお答えください】

貴社の物流・ロジスティクス・SCM部門が主導した、過去1年程度に取り組みられた施策をお聞かせください（複数選択可）。



1-5. 自動化・省人化にむけた投資

物流・ロジスティクス分野における労働力不足に対応するため、自動化・省人化等への投資についてお聞かせください（1つ選択）。



1-6. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
食品	①業務用製品 ②バルク製品	①中小卸店が多く物流課題への取り組みが遅れている、家庭用卸や小売業のように業界団体のまとまりが弱い ②一般トラックに比べ、ローリー車など特殊車両の配送業者・ドライバーが少ない
	アイスクリーム	物量の変動が大きく、その対応に苦慮
	菓子	パレット輸送化の推進。菓子業界におけるスナック・米菓など軽量で嵩のはる商品は従来バラ輸送であったが、24年問題を控え、パレット化することで、ドライバーの拘束時間における運転以外の業務の時間を短縮する必要がある。業界で取り組む必要があり、その協議を行っているが利害が反するので協議に時間がかかる。 パレット化は総論賛成、各論（発注ロット、パレット規格、検品レス、費用負担）になると利害がでるため調整が困難
	衣料品、住居品、フローズン、生鮮品、加工食品	納品スキームの見直し、成長分野については物流体制再構築、一部地域については他社との物流共同化
	飲料、ドライ食品、チルド食品、冷凍食品	物流課題に対する得意先様(特に外食業界)との温度差を感じる場面が多々ある (例：ホワイト物流への参加表明数)
	加工食品	長時間待機、附帯作業等の改善
	加工食品	物流という川下に負担が大きい。配送面でのリードタイム延長は不可欠。
	加工食品	問題点を残した商慣習の改善 主導的な需給計画の策定（現在は販売最優先） 持続可能な物流体制の構築 物流人材の育成・確保
	加工食品	商慣習
	加工食品	商慣習の見直し（長時間待機、附帯作業、納品リードタイム）、物流の持続化（共同輸送、モーダルシフトなど）
	加工食品	持続可能性
	加工食品	商慣習およびレンタルパレットの運用
	加工食品	商慣習、庭先条件、物流共同化、物流DX
	乳製品、菓子製品	荷主の取引先、客先の事情優先による物流現場への配慮不足

1-6. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
食品	加工食品	<ul style="list-style-type: none"> ・商慣習（納品先での付帯作業や待機時間） ・需要計画の精度向上と、伴う在庫適正化 ・受注ルールの適正化（時間外の注文や小口配送への対応）
	加工食品	2024年以降も持続できる物流体制の構築に向け、どのルートにどの輸送モードを組み合わせるか、できれば復路の荷物もセットで任せられるように委託業者を整理する、積込・荷卸を速やかにするためにパレット単位の在庫移動を増やす、社内オーダーの×時間を早めて現在は積込日当日に準備していたものを前日に準備をできないか、等の課題
	加工食品	受注リードタイム延長、配送ロット管理の不徹底、オーダー変更の常態化
	加工食品	商慣習、物量波動、アライアンス、標準化、24年問題
	加工食品	需要予測の差異による在庫増減、2024年問題対応とコスト影響の詳細化
	加工食品	商習慣
	加工食品、ペット用品	消費財荷主企業の多品目、少量、多頻度、時間指定納品の改善が進んでいない。
	加工食品全般	付帯作業・待機時間・指定時間納品などの過去からの商慣習の改善。 コストと安全品質・人手不足社会への対応の両立。 物流従事者の労働環境の整備。
	加工食品	供給力不足、販売のマネジメント不足、物流の見直し
	酒類	持続可能な物流体制の構築
	酒類	納品条件（付帯作業：納品時間指定・荷卸し等の荷役要請）
	加工食品	付帯作業や配送条件の緩和
	食品・菓子	商慣習
	食品素材	共同配送の具現化
	食品	パレット化

1-6. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
食品	日配品	短いリードタイム 共配の拡大 店舗での納品条件緩和
	農産物	物量の変動
	冷凍商品	冷凍倉庫での根つまり対策 メーカー、卸及び小売り、倉庫業社に対して、輸送業者からの提案 4方良しの考えが出来ないか？

	サプライチェーンの品目名	課題
日用雑貨等	アパレル	百貨店、量販店の商慣習
	印刷用紙	保管場所の確保、EDI・API連携
	日雑	2024年問題が迫る中、AM11:00受注分を国内2拠点から北海道以外翌日AM配達する取引条件。 自社配送で無い為、輸配送時の破損事故による品質の低下。 出荷拠点が2か所しかない為、共同配送に参画しづらい。
	共同物流の推進遅れ	荷姿やネットワークの違い
	雑誌・書籍	納入時間指定
	小売り・日雑・食品等	物流費の精査ができていない、経営における物流の重要性を説明できず、予算の確保もできず、社内で発言できるような人材がいない
	寝具	大型品の全国への宅配
	日用雑貨（身体洗剤）	納品リードタイム（発注日の翌日AM着） 納品先軒先でのドライバーによる荷役（積替え作業等）
	日用品	配送コスト、調達コストUpによる仕入れ価格増、センターフィの増額等、24年問題対応

1-6. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
化学	化学品	①商習慣（リードタイム・納入条件） ②化学業界SCとしての標準化（パレット・伝票・情報等） ①②に加え、物流を担う人手を確保（賃金面・労働時間面）するためにも物流共同化しないと、安定物流の担保が厳しくなっている。
	化学品	資材調達～製品納入まで、部署が分かれている為、一気通貫出来ていない
	化学品	日中間商慣習、物流共同化
	化学品	危険物・高圧ガスの日本における荷受・保管設備の整った港湾が少ないため、原料の安定輸送の維持が難しい。 日雑業界での商慣習、荷役人員が少ないため、荷受けの際には運転者が自主荷役を行わざるを得ない状況が多く、荷受人側での改善も見込めず車上渡し原則が守られていない。また自主荷役時の破損等の事故が起こった場合には荷主・輸送業者の責任となっている。
	サプライチェーンの品目名	課題
建材等	住設業界	納品時の取決め 時間指定、車上渡し、軒先渡し 等
	住宅建築資材	・DX化を進めるための業界標準コード化がなされておらず、目視検品のため労力・品質が向上できない。 ・多くの商材が重量物・長尺物のため、人力荷役が中心になってしまう。
	住宅設備	商慣習、アライアンス強化
	建材製品	1 DAY配送と時間指定が商慣習となっている。
	サプライチェーンの品目名	課題
医薬・医療機器	医薬品	共同物流、品質管理
	繊維、樹脂、医薬品・医療機器	コストアップの抑制
	大人用紙おむつ、医療用キット	商慣行（顧客の物流に対する要求度が高い）
	日用雑貨・衣料品・医療関係	統一納品伝票およびペーパーレス化

1-6. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
自動車関連	自動車部品	国際的なサプライチェーンの混乱が、国内物流のサプライチェーンに混乱をもたらすという脆弱性
	自動車部品	調達物流費の外化
	自動車部品	輸送効率向上によるコスト低減
	自動車部品	特に半導体・材料などの供給問題
	自動車部品、機器製品、容器、パレット	海外顧客と連携した製品、容器、パレットの在庫管理

	サプライチェーンの品目名	課題
素材系	ガス・水道管の管材業界	①パレット混載の常態化(一度に複数パレット入荷するが、同じ商品があちこちのパレットに散在しており、仕分けをしなくてはならない。ダンボール箱で1個が20kgを超えるものが多い)、②トラック荷台へ直接荷物(ダンボール箱)を満載積込で、荷台にてパレット積みしてから荷降ろしをする運び方、③電話・FAXによる注文、④一度出荷(販売)したものが、最終現場にて余ると返品してくる慣習 等
	金物部品、樹脂成型品	年間を通して物量のバランスが悪い。
	建築資材	輸配送の安定化、高品質化
	原材料、電機購入品	価格高騰と入手難
	制御機器、加工鋼材品	価格と及び長納期化
	製造(調達)に型が必要な部品	仕入先からの供給不可や最終調達情報による対応方法
	繊維、樹脂など	ドライバー付帯作業の解消
	段ボール	納品の待機時間が長いこと。納品作業が重労働(手降ろし・2階上げの場合有)
長尺物(パイプ)の輸送方法	平ボディもしくはアコーディオン式の特種車両しか使えず、また積み下ろしの作業に手間がかかり、効率性が悪い。	

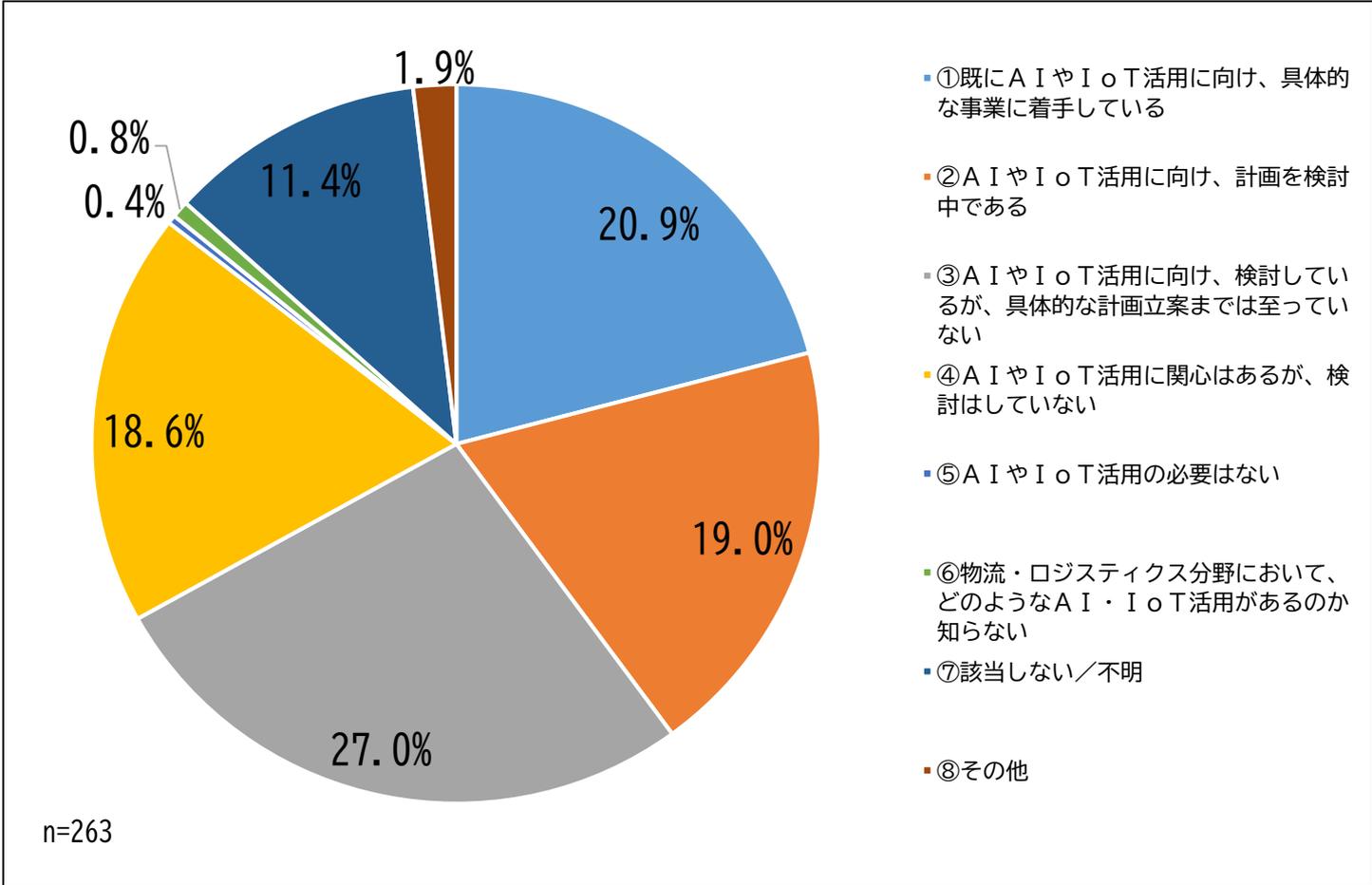
1-6. サプライチェーン別課題

貴社の関わるサプライチェーンにおいて、課題がありましたらお聞かせください（自由記入）。

	サプライチェーンの品目名	課題
精密機器	精密機械	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年問題に関連し、輸送費の増加を懸念しています。 ・お客様に製品を配送した後、パレットが戻ってこない事があります。毎年、パレットの追加購入が必要となっており、課題となっています。
	コンピューター関連機器	国内のサービスプロバイダーにおいて、キitting、DXや機械化による業務効率の改善、プロセス改善による生産性の向上などの提案力があり、荷主の業務改善を提案できる物流受託企業が無く困っている。
	航空機部品	物流俯瞰システム
	情報機器	人材の確保と育成
	精密機器（プリンタ・マシン・工作機械等）	地政学リスク（中国台湾紛争リスク、中国貿易ルール変更リスク等） グループ内在庫管理の最適化（各拠点間での在庫保持の最適化、見える化・トラッキング高度化）
	電機・電子（半導体含む）、自動車部品、化成品等	サプライチェーンの見直し、物流の共同化、DX対応 等
	電機機器	サプライチェーン強靱化、社内・社外の連携強化、物流自動化・DX化、共同化、グローバル展開
	電気電子機器	安定調達（取引先の生産管理、製造計画のチェック）、CO2排出量削減
	電子部品の長納期化	長納期化に伴うリードタイムの見直しと調達価格の上昇
	半導体	台湾リスク、航空輸送費乱高下
	コンピューター関連機器	コンピュータの配送において、波動対応が課題である。大口案件の配送や、短納期対応が課題。受荷主の協力が得られず、受荷主のリクエスト通りに納品ができない。また、窓口となっている営業部門が受荷主（顧客）との折衝ができていない。

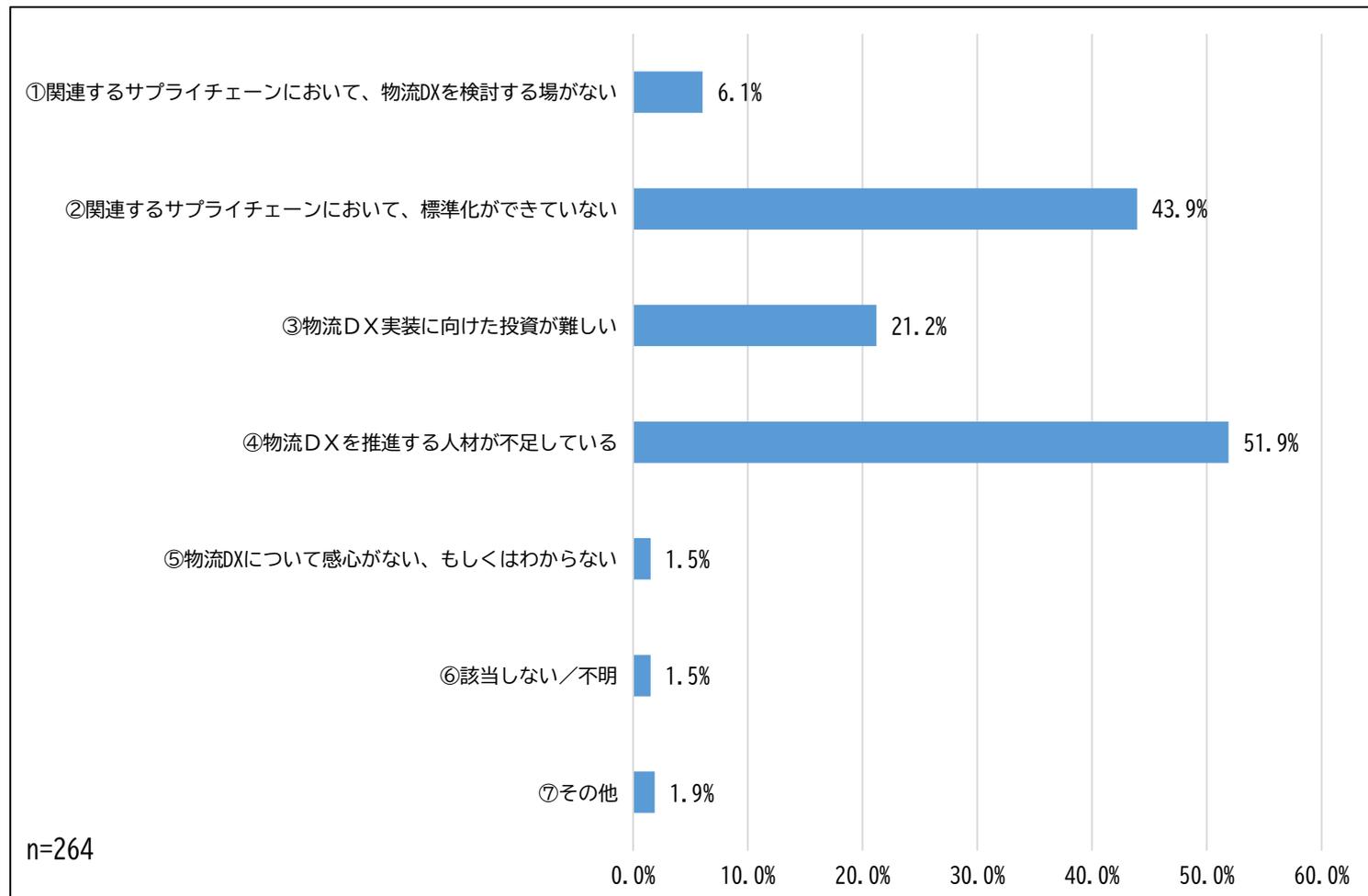
2-1. AIやIoT活用

物流・ロジスティクス分野におけるAIやIoT活用について、貴社の現状をお聞かせください（1つ選択）。



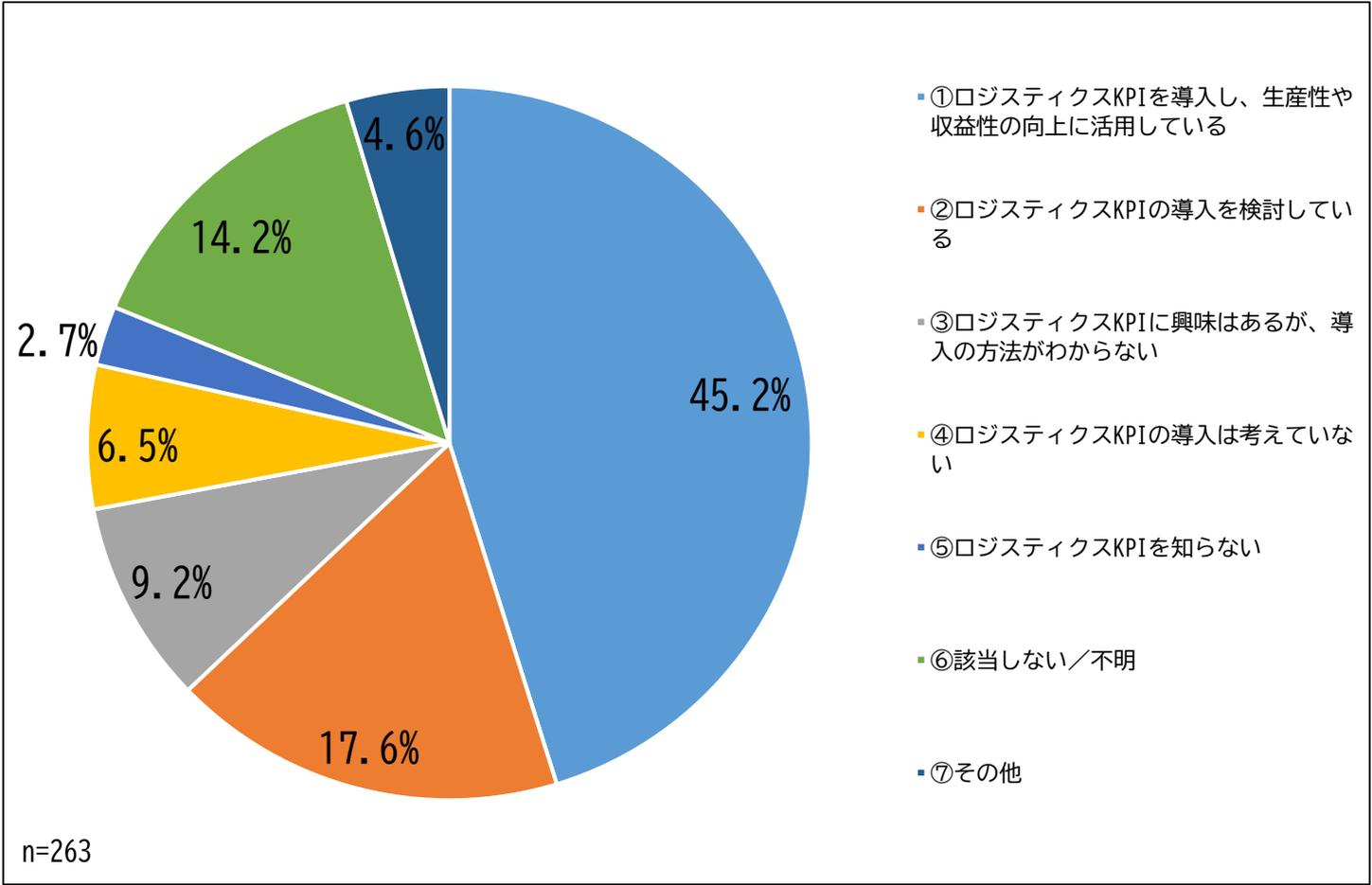
2-2. 物流・ロジスティクス分野におけるDXの課題

物流・ロジスティクス分野におけるDX（機械化・デジタル化を通じて物流のこれまでの在り方を変革すること）について、課題をお聞かせください（複数選択可）。



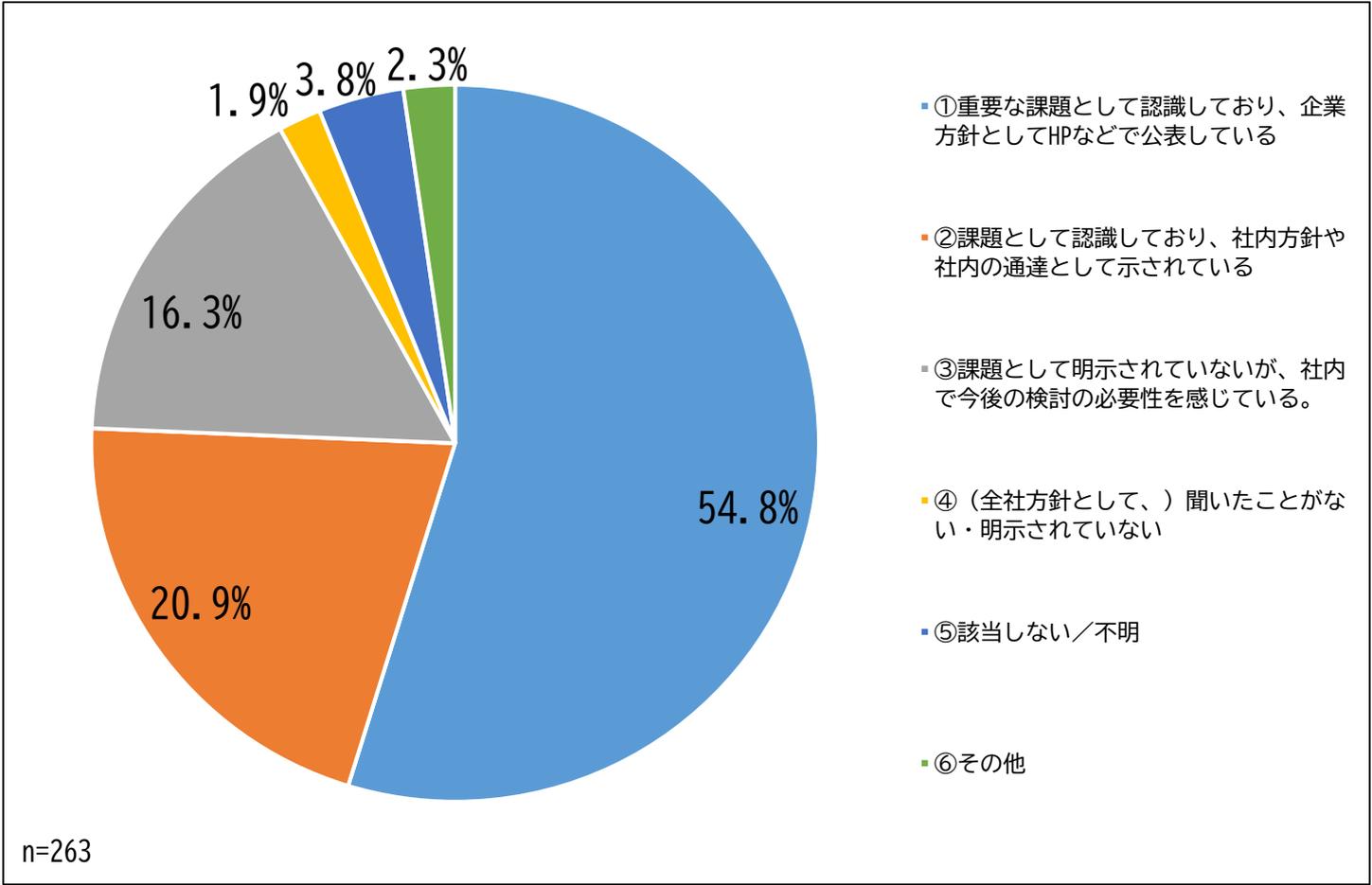
2-3. KPI活用状況

ロジスティクスKPI (key performance indicator) の活用状況をお聞かせください (1つ選択)。



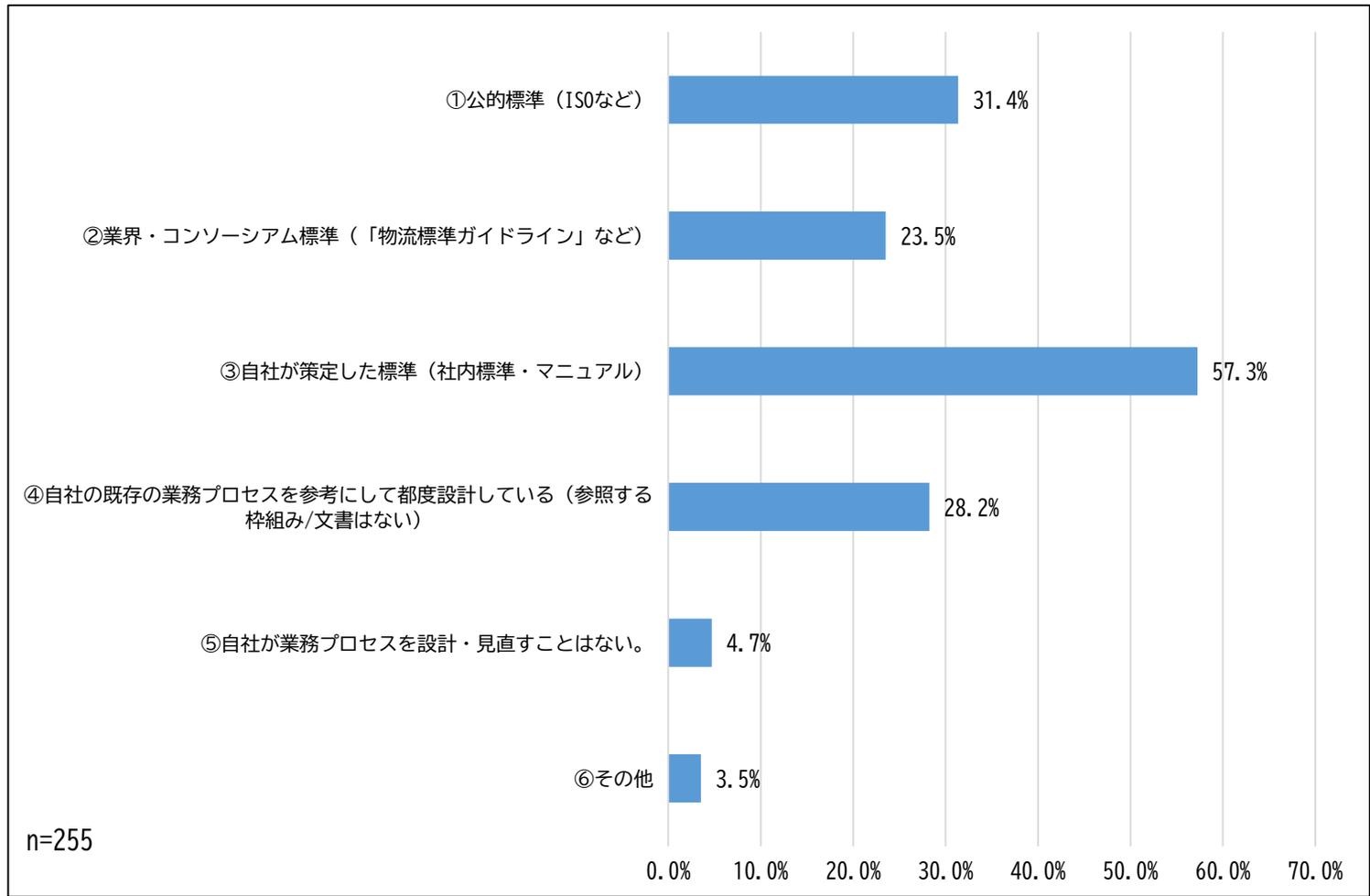
3-1. SDGsに関する取り組み状況

SDGsに関する取り組み状況についてお聞かせください (1つ選択)。



4-1. 標準化

物流・ロジスティクスの業務プロセスを設計・見直す際に参照している枠組み／文書をお聞かせください（複数選択可）。



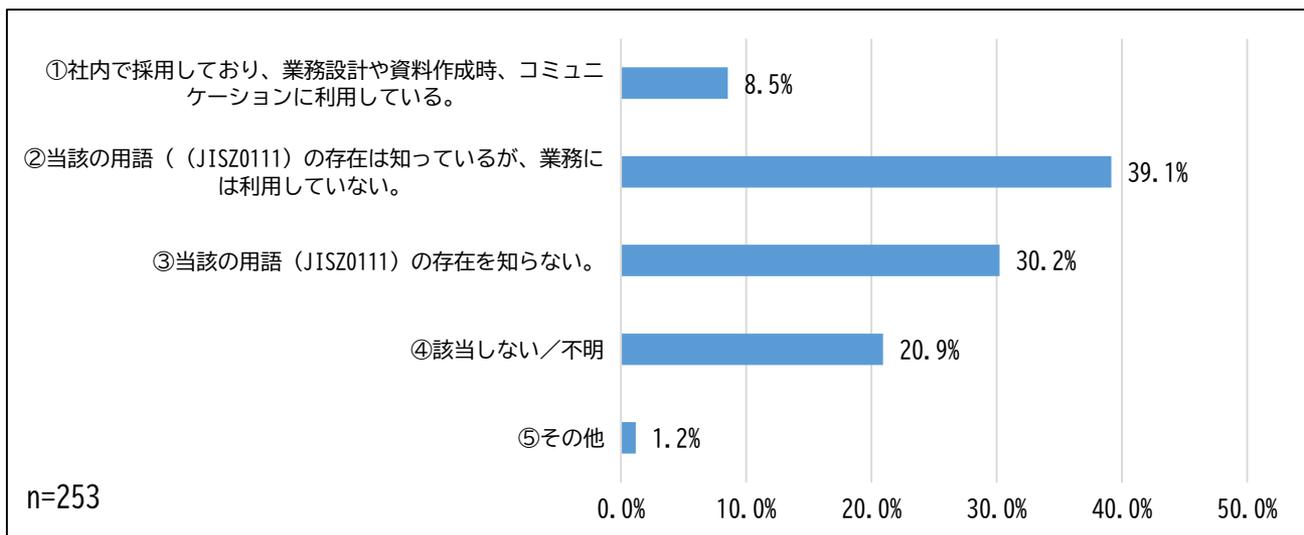
4-2. 標準化

物流・ロジスティクスの業務プロセスを設計・見直す際に参照している枠組み／文書を具体的に教えてください（自由記入）。



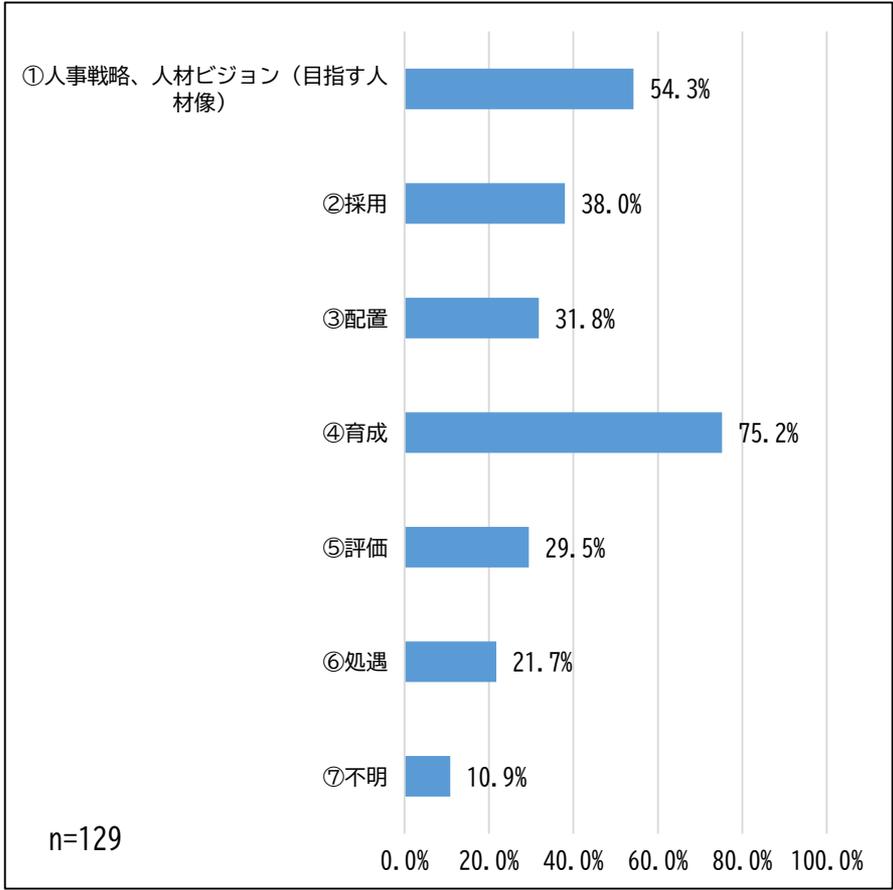
(参考) ワードクラウド

日本産業規格の物流用語（JISZ0111：2006）の活用状況について教えてください（複数選択可）。

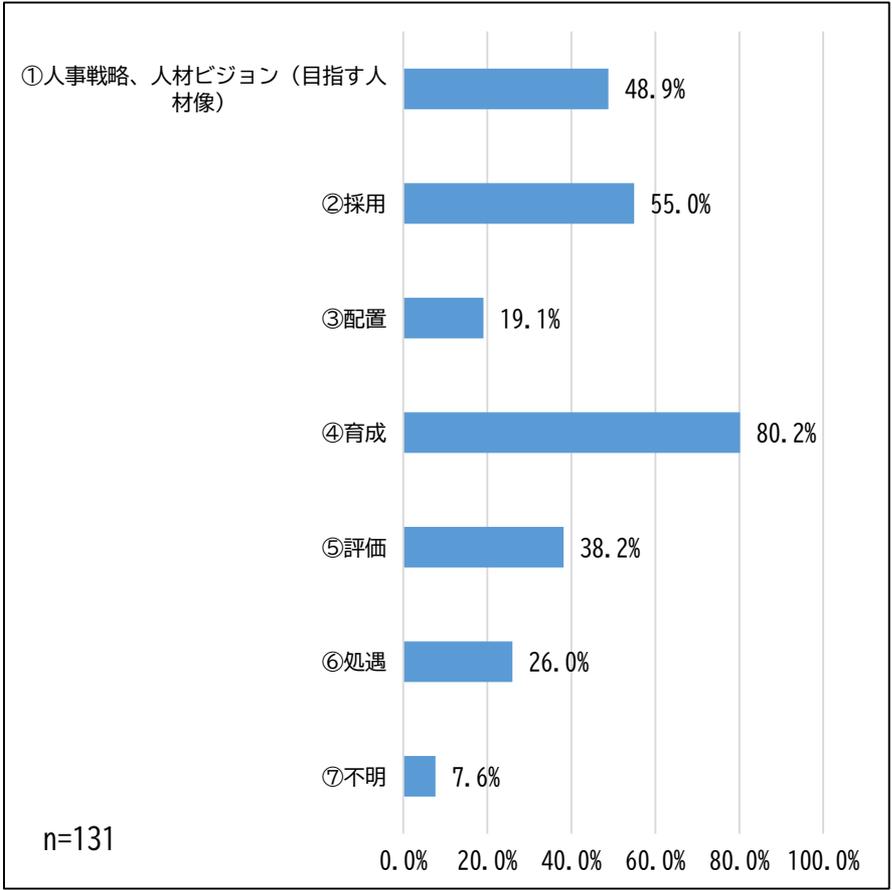


5-1. HRMの主な課題領域

【荷主企業の方のみお答えください】
 貴社の物流・ロジスティクス・SCM部門のHRMに関する主な課題領域をお聞かせください（複数選択可）。

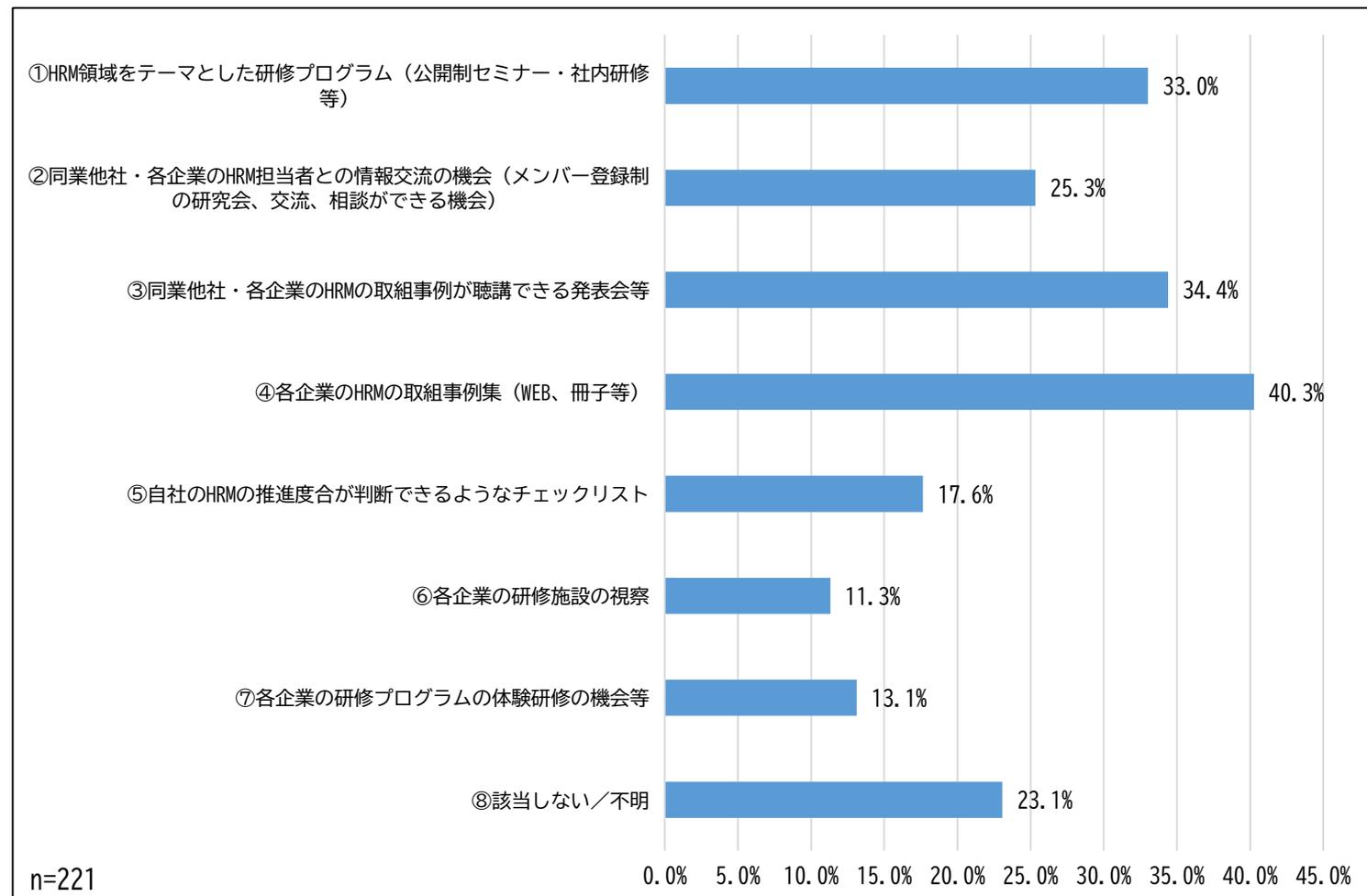


【物流企業の方のみお答えください】
 貴社のHRMに関する主な課題領域をお聞かせください（複数選択可）。



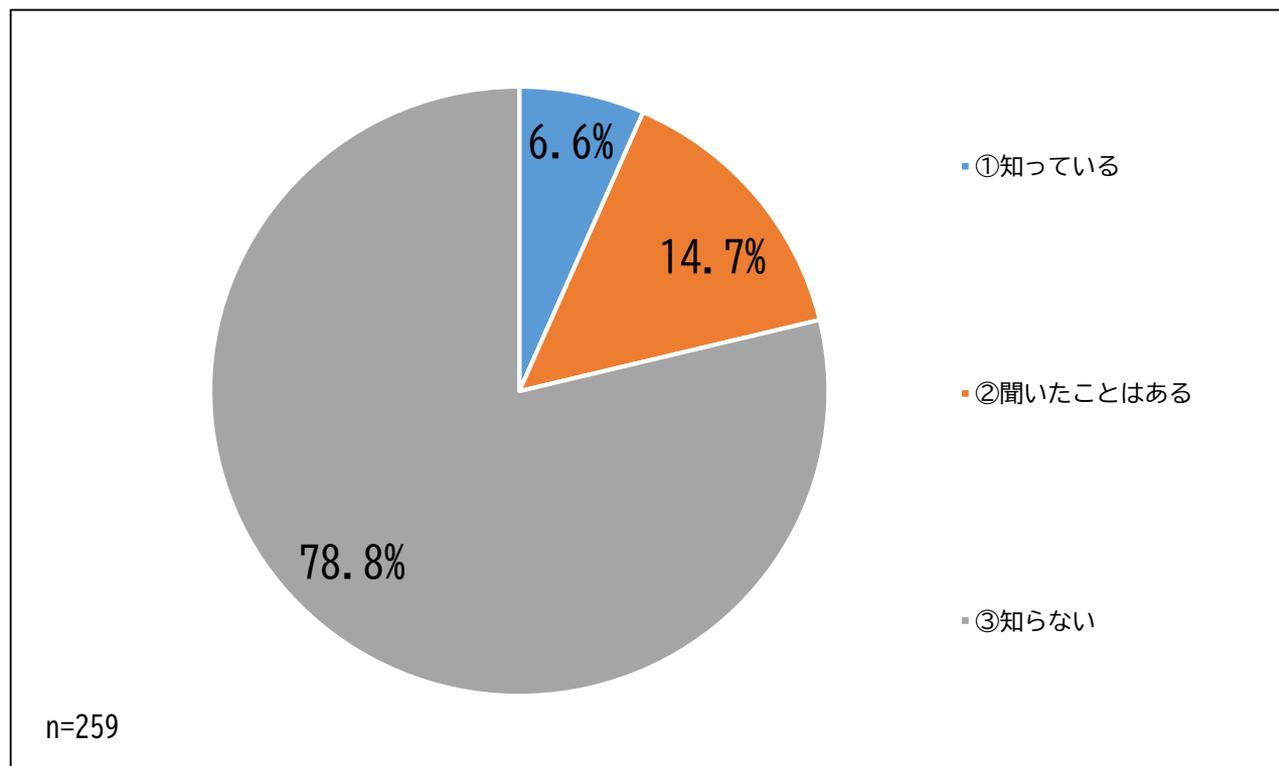
5-2. HRMの課題領域について希望する事業

HRMの課題領域についてどのような事業提供を希望されているかお聞かせください（複数選択可）。



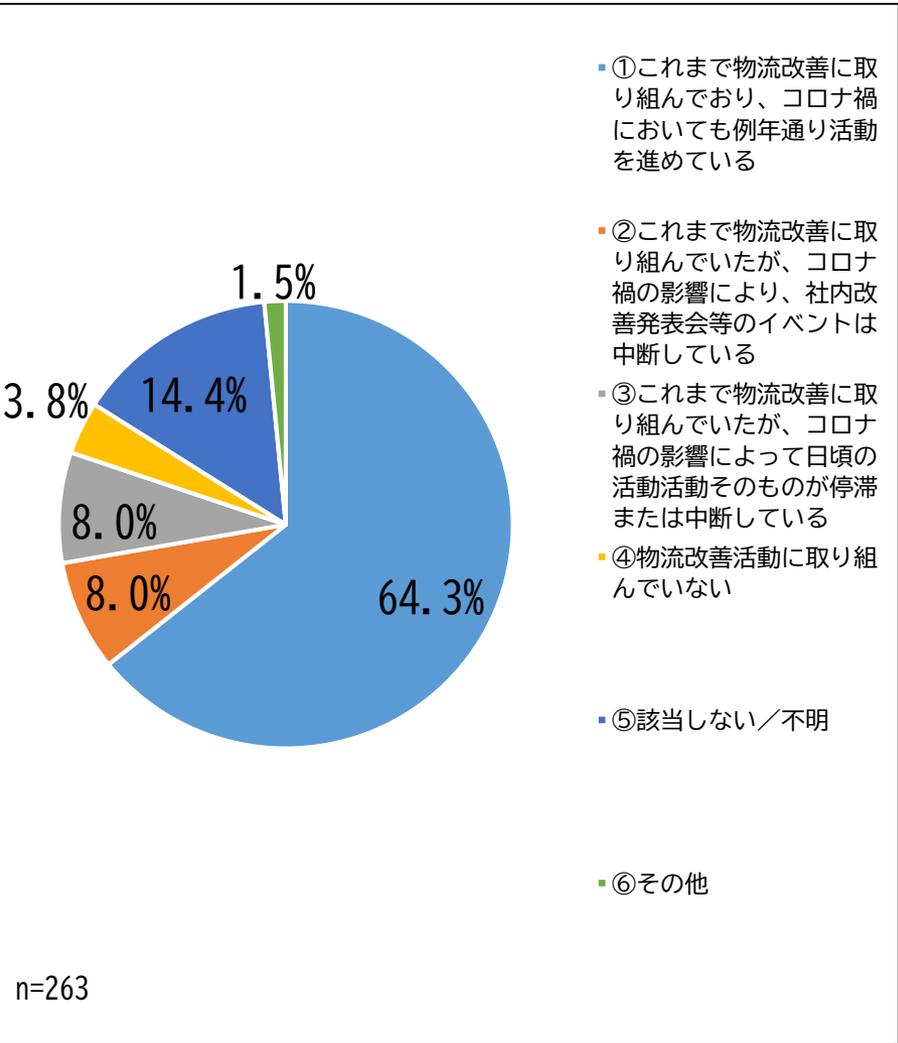
5-3. 人材版伊藤レポート2.0認知度

人材版伊藤レポート2.0(経済産業省「人的資本経営の実現に向けた検討会報告書」)をご存知ですか(どれか1つ)。

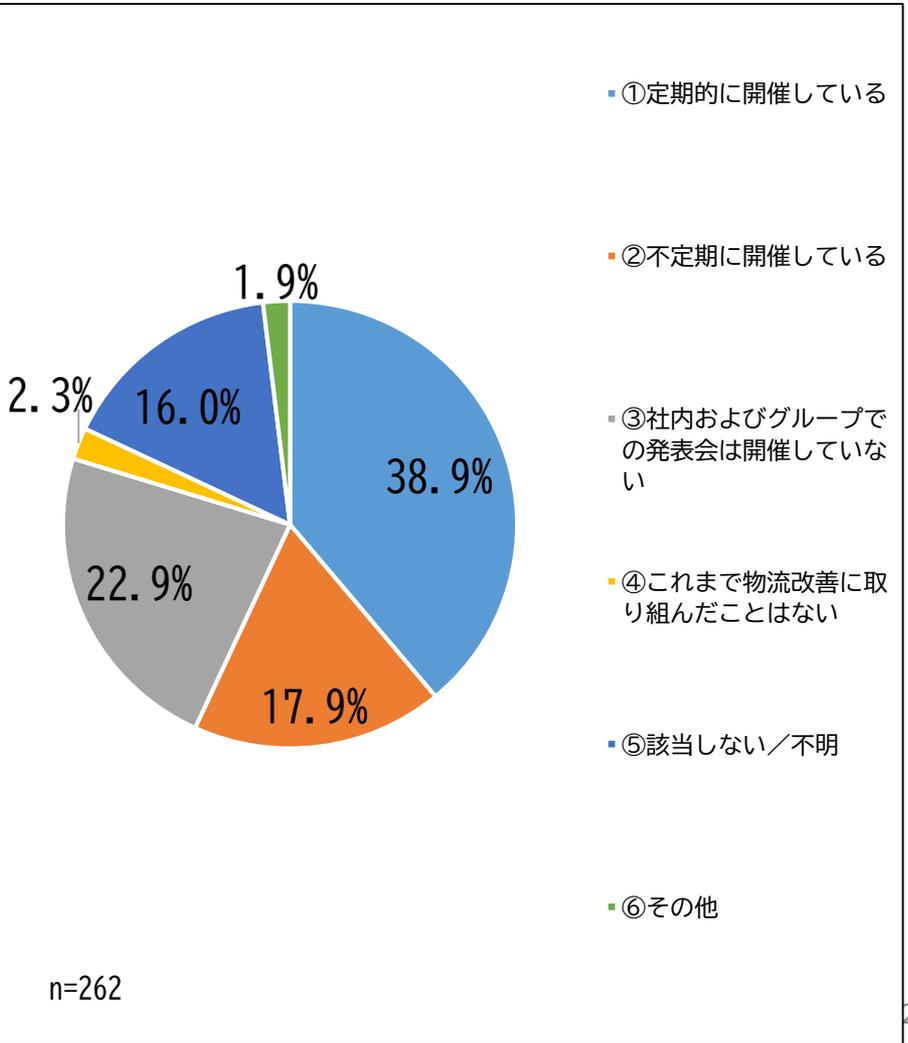


6-1. 物流改善活動取り組み状況

物流改善活動への取り組み状況について、お聞かせください (どれか1つ)。

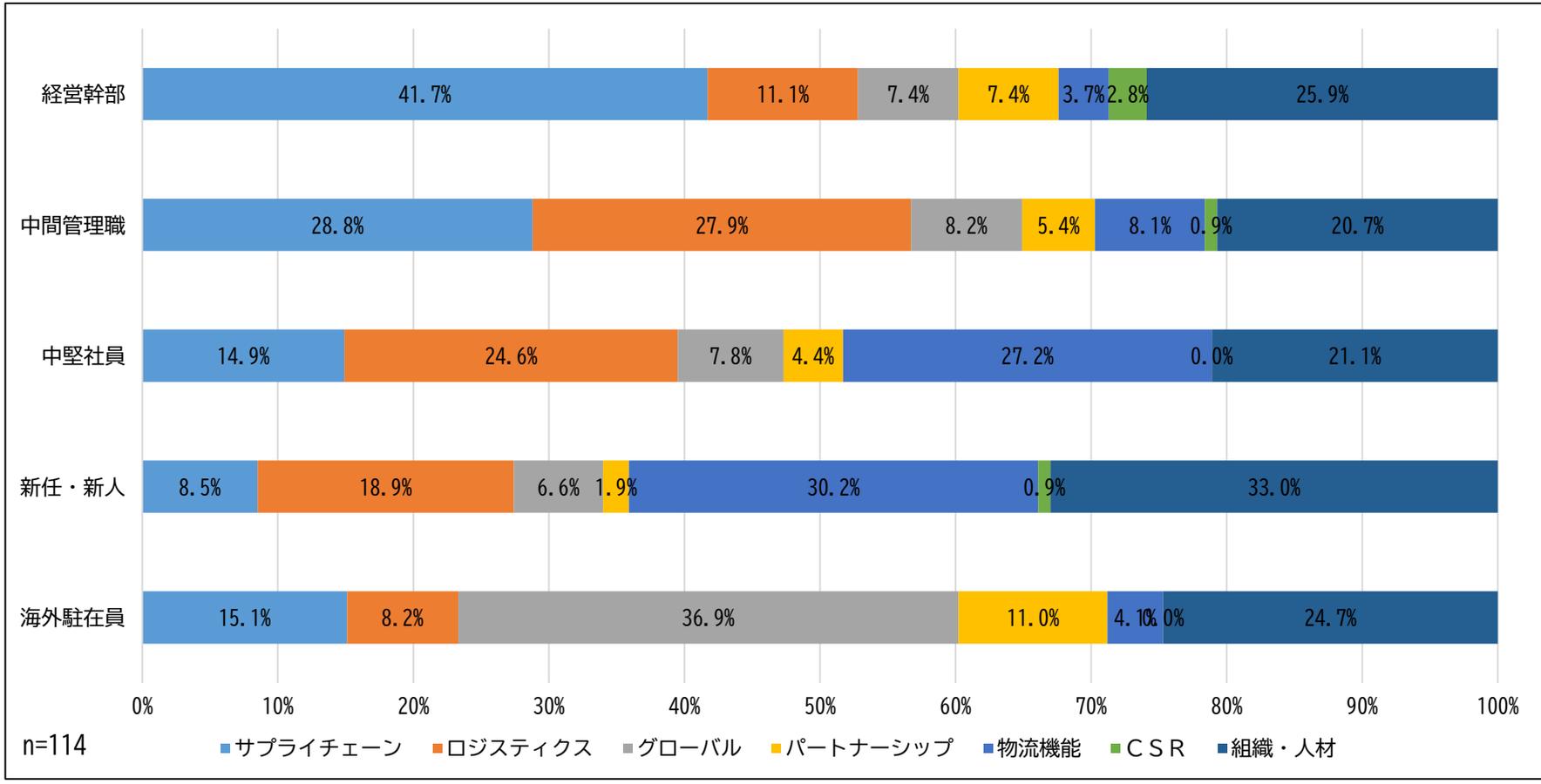


社内もしくはグループによる物流改善活動の成果発表会についてお聞かせください (どれか1つ)。



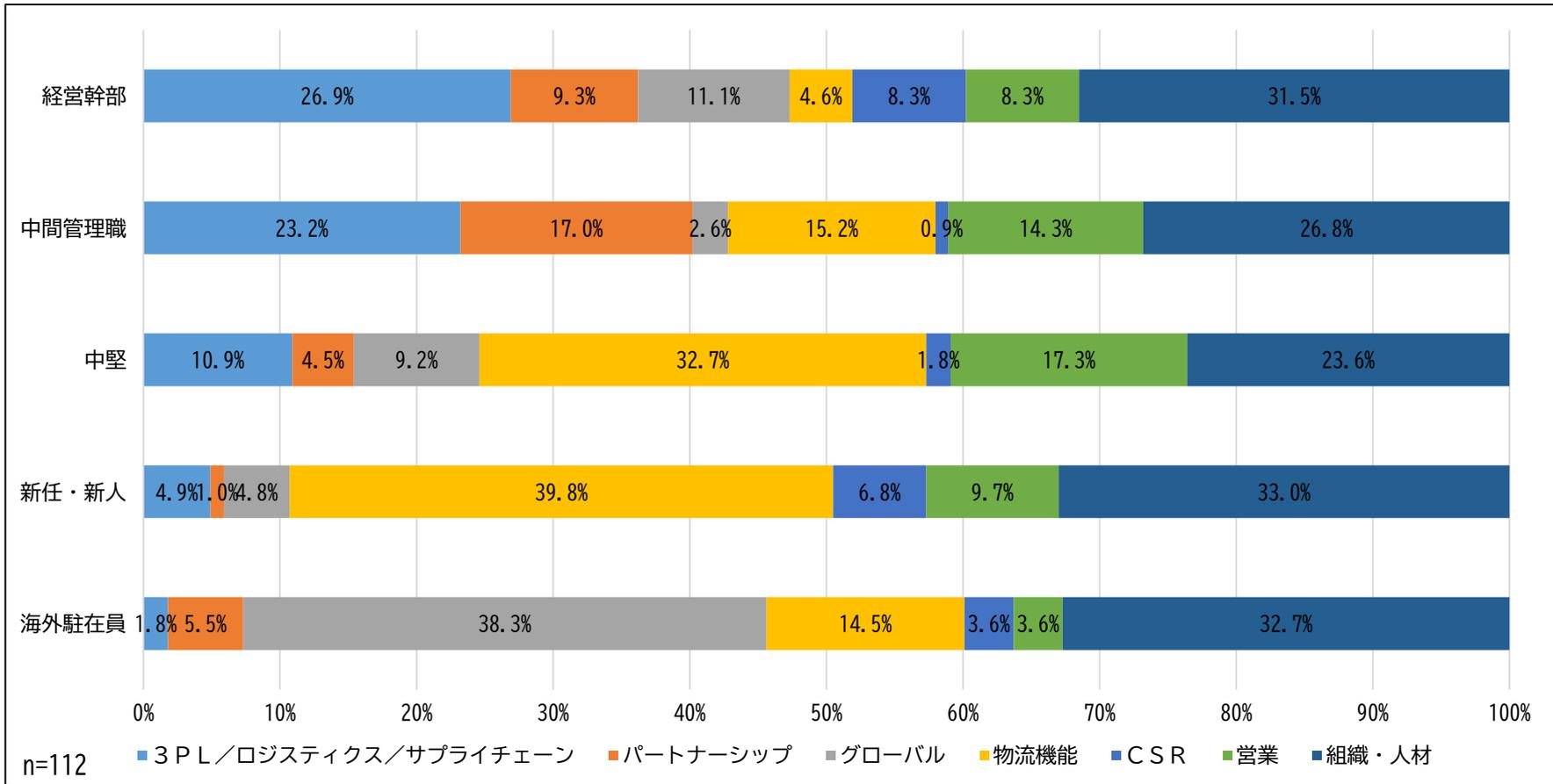
7-1. 人材育成における重点テーマ

【荷主企業の方のみお答えください】
 物流・ロジスティクス・SCM分野の人材育成について、以下に示す領域において課題と感じている箇所にチェックをお願いします（複数選択可）。



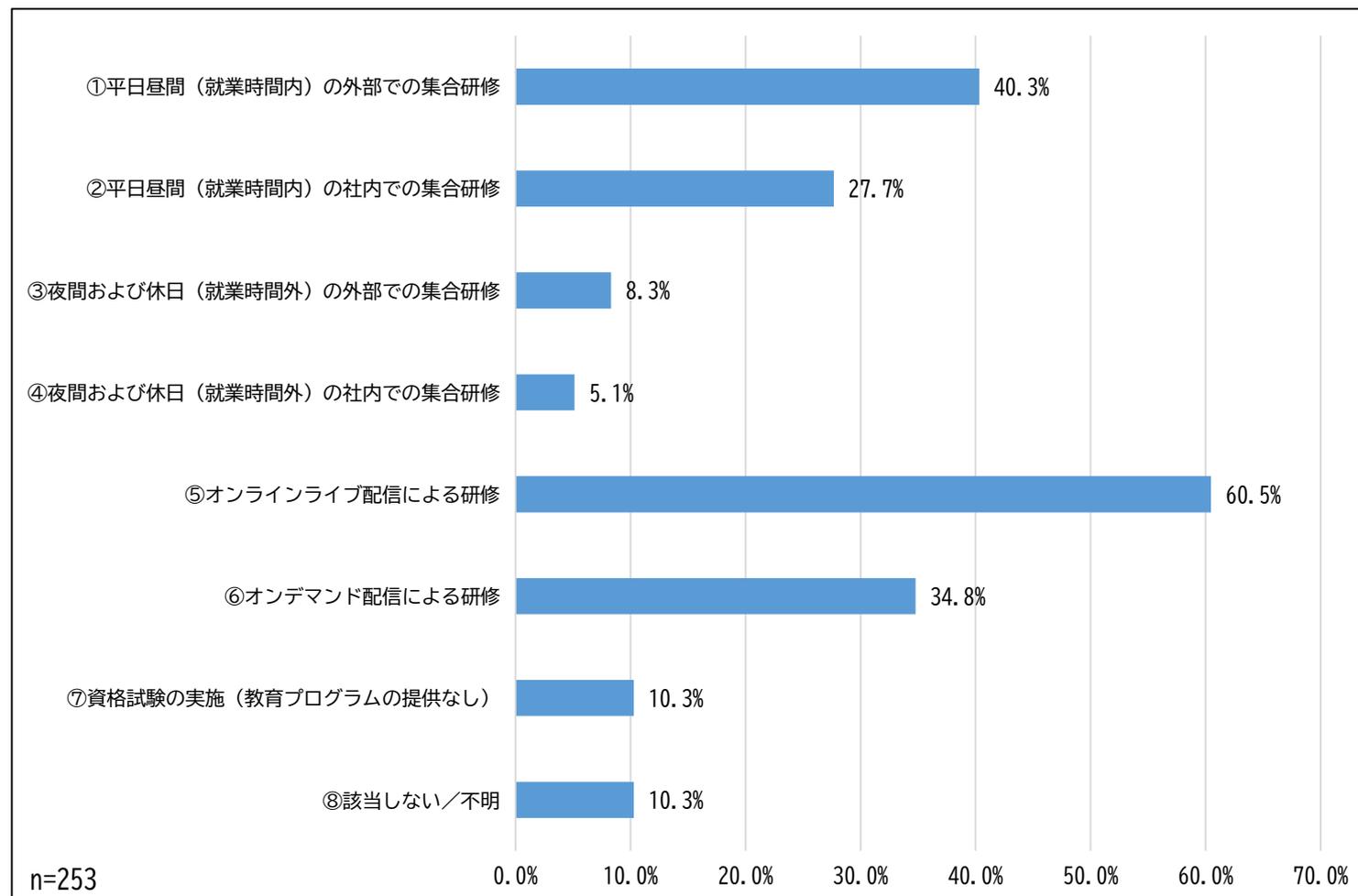
7-2. 人材育成における重点テーマ

【物流企業の方のみお答えください】
 貴社の人材育成について、以下に示す領域において課題と感じている箇所にチェックをお願いします（複数選択可）。



7-3. 希望する教育形態

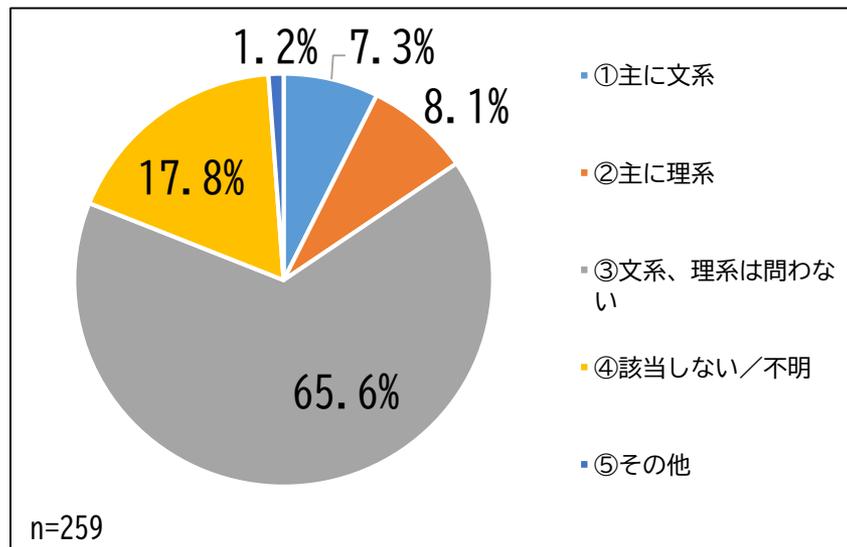
教育プログラムを受講（もしくは派遣）する際、どのような実施形式を望めますか（複数選択可）。



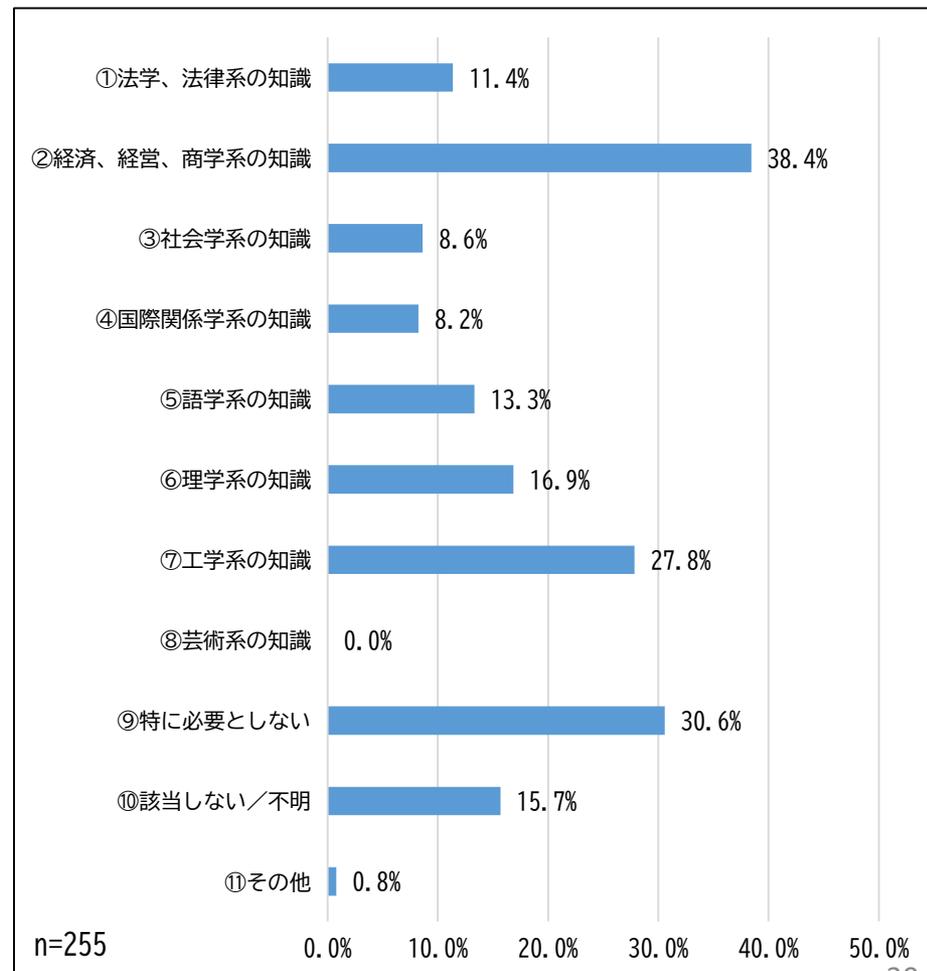
8-1. 新卒学生にもとめるもの

新卒採用において、貴社もしくは物流・ロジスティクス・SCM部門では、主にどんな学生（大学生・大学院生）を求めていますか（複数選択可）。

【学部・学科】（どれか1つ）。



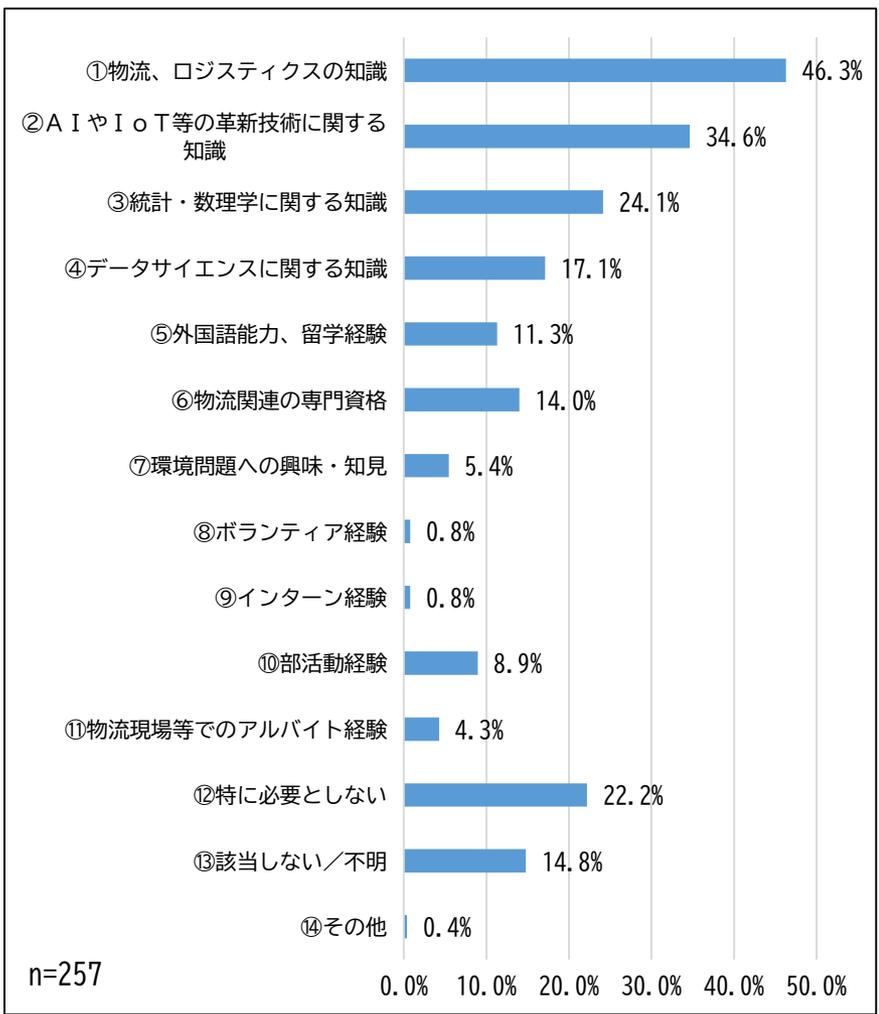
【専攻】（3つまで）。



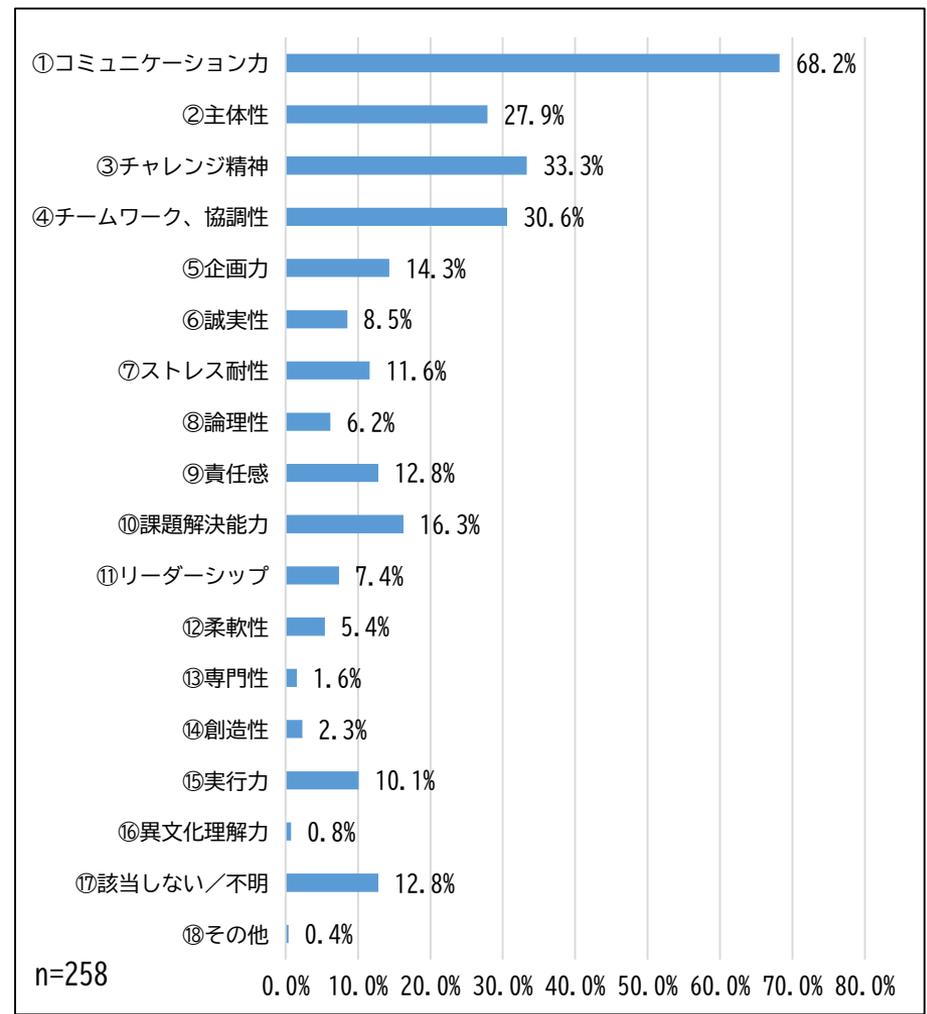
8-2. 新卒学生にもとめるもの

新卒採用において、貴社もしくは物流・ロジスティクス・SCM部門では、主にどんな学生（大学生・大学院生）を求めていますか（複数選択可）。

【知識・知見】（3つまで）。



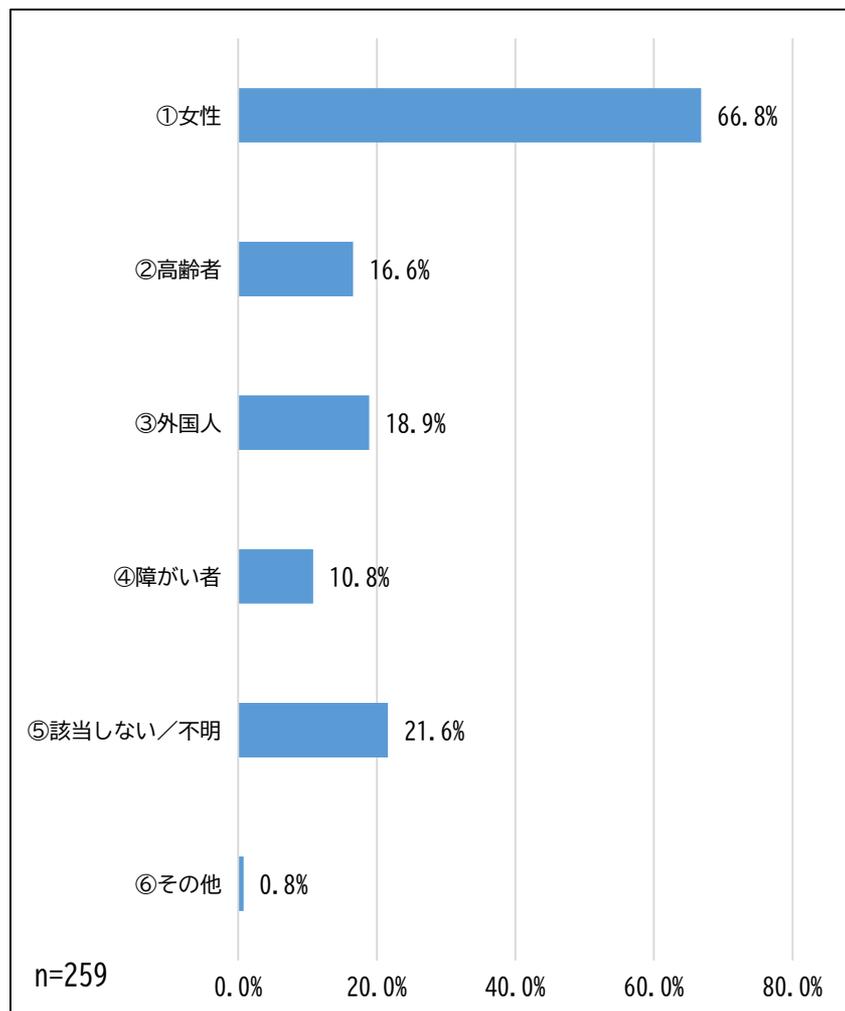
【資質・能力】（3つまで）。



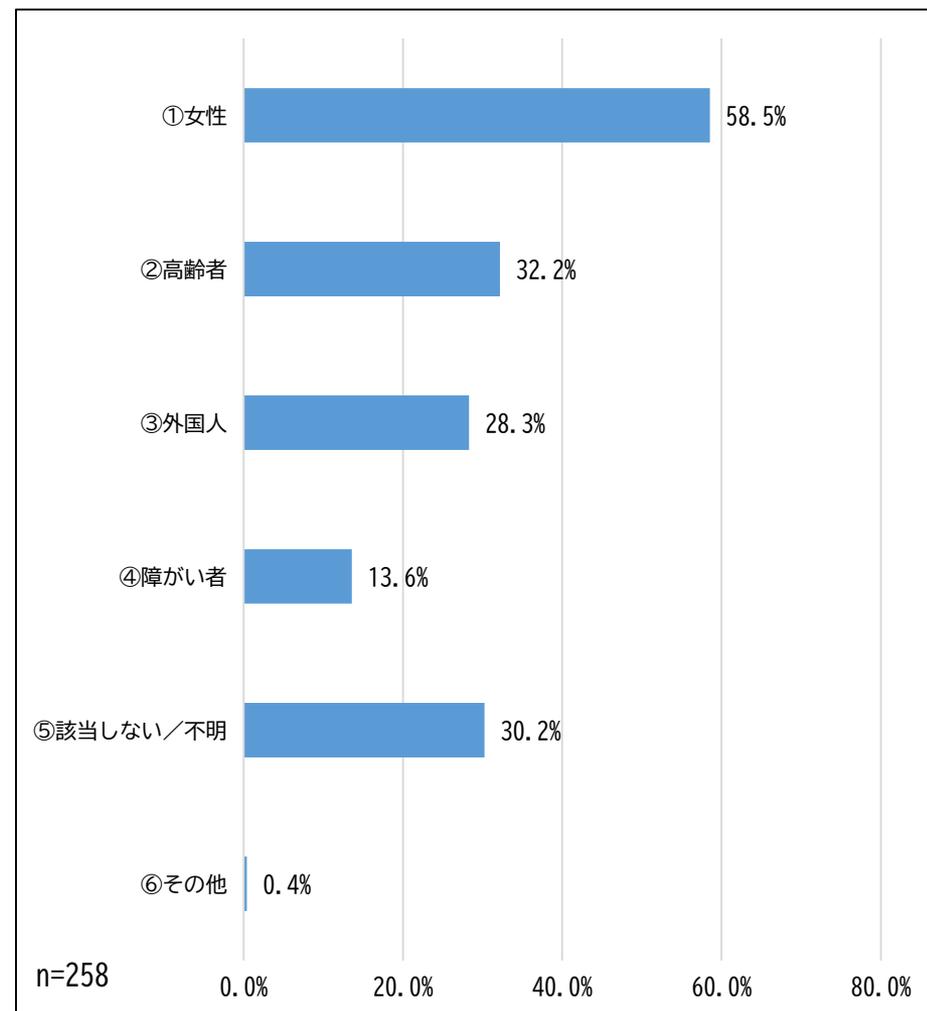
9-1. ダイバーシティ&インクルージョン

ダイバーシティ&インクルージョン（多様な人材を積極的に活用しようという考え方）を進めるにあたり、より積極的に活用したいと思う人材をお聞かせください（複数選択可）。

管理・技術職

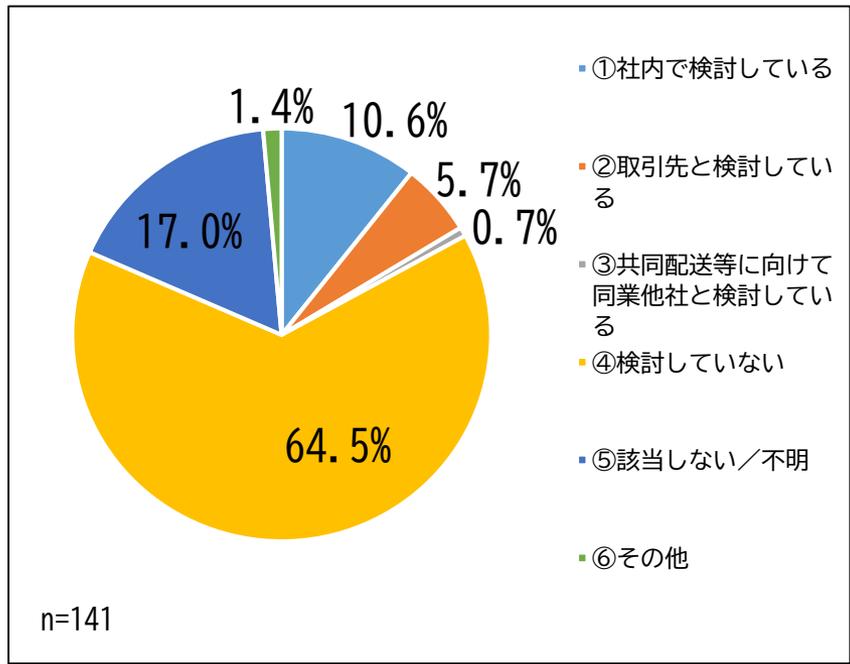


物流現場



10-1. 大阪万博対応

【荷主企業の方のみお答えください】
大阪万博期間中の物流対策について検討状況をお聞かせください（1つ選択）。



【荷主企業の方のみお答えください】
「②取引先と検討している」とお答えの方、取引先を具体的にお聞かせください（1つ選択）。

